關西大學新報
発行所 関西大学新報社
大阪市大淀区長柄西1-3-22
電話(358)2271

＜号外＞新入生特集

天六へようこそ

新入生の皆さん！いわゆる最高学府たる大学に一歩足を踏み入れた諸君らへ、様々な意味を込めて、祝入学、という言葉を送る。そして、これからの最後四年間をどの様に過ごすかは、君らの判断である。とりあえず、この関西大学Ⅱ部を紹介しておこう。

関大Ⅱ部天六学舎は、文字通り我々Ⅱ部生の学舎である。大阪市内に位置するⅡ部大学はここだけである、青年労働者にとって、遅くまで通学するのは大変である。しかし数年前、大阪外大Ⅱ部は、生駒へ移転された。関大Ⅱ部も千里山への移転が幾度となくウワサされている。しかも「Ⅱ部縮少廃止」論は、いまだに大学内部に存在していると言う。26年以前、現在の二倍の定員であった。それが削減され、80年度ならば、一挙に3.3倍の学費値上の強行があった。これらは縮少廃止への前進である。さらにⅡ部解體は続いている。一方解放教育とひなげる関大ではあるがその内実たるや、ひどいものである。教員による差別発言は続発するし、差別落書は、後を絶たない。我々学生が何も言わなければ、大学は何もしないどころか、反動に流されてしまうのである。

問われる学生自治？

この様な中にあって、学生はどうしているのかが問われる。まず初めに、学生の組織について説明しておく。我が関大Ⅱ部は、Ⅱ部生全員が学友会に加盟する、いわゆる全員加盟制である。毎年五月中旬から下旬になら自治委員選挙が行なわれる。各学部各学年から二名の自治委員が選出され、合計40名で自治委員会が運営され、その中の13名で執行委員会が組織され、学友会の執行・運営・処理にあたる。又、これとは別に学生の任意で組織する、クラブ・パートがある。つまり、体育会(15クラブ)・文化会(15クラブ)・学術研究会(14クラブ)の3つの複合パートと単独パートである応援団・弁論部・新報社・する同好会の4つである。これらが相互に学内自治を全うするのである。しかし、残念なことに学内に山積する諸問題―縮少廃止・学費・Ⅱ部解消・差別問題等に有効に向えていないのである。とりわけ体育会・文化会・応援団・する同好会及び執行委員会は、大学当局のエサ＝学生会館に翻弄され、真の学生自治をなおざりにしている。もっと下劣なことに、執行委員会(民主青年同盟主導)は、差別問題を切り捨て、敵対するのである。この時期、クラブの勧誘に負けることなく、自らを問い、自らの考えを創造すべき時なのだ。

新入生へ闘い続ける戦線へ！

皆さんもご承知の様に、昨年の夏に教科書問題がおこった。何もとりたてて、この時期に問題となるべきものでもなく、教育に於ける右からの攻撃は一貫して行なわれている。又、教育に限らず、多くの面でそうである。そしてこの教科書問題と、マスコミで騒がれる直前、天六公開自主講座で連続として講座が持たれた。同自主講座実行委が学費値上阻止斗争の継承として発足して以来、脈々と断続していることがうかがえる。又、学内で民族差別問題を斗い続けている、朝鮮文化研究部、民族差別を考える会は、共同斗争を行い、大きな成果を勝ち取っている。本年度から開講される人権問題講論の義論をはし、朝鮮文化も開講せしめた。とりわけ、昨年度の就職差別への対策を就職部に確約させた斗争は民青の妨害をはねのけ、大勝利に終った。これらの戦線へ参加することは、自己解放に大きな布石となるだろう。

次号、関大新報、第229号は[illegible]発刊(予)

STAFF ◎ぼしゅう

◎しんぼうしゃ◎

―ちかBOXまで―

課題論文・投稿・寄稿大々募集

課題・ページ数自由

新報社 編集委員会

4.19 6:30～

韓国四月革命23周年

4月27日(水) 6時40分～

天六公開自主講座

=参加しよう=

主催：同実行委

4/11(月) 12(火)

スライド上映会

無料 6:45～ 8:10～

主催 民族差別を考える会